



祝!熊日学生音楽コンクール 優秀賞

昨日20日(日)に熊日学生音楽コンクールの合唱部門が県立劇場であり、帯西は、優良賞を受賞しました。合唱曲は「歌の始まり」を歌いました。この歌の歌詞の中に「歌は人と人との出会いから生まれてくるのだ 歌は人と人が感じあって生まれてくるのだ 歌は微笑みとなり 微笑みは広がっていく 春の日差しのように 心が広がっていく 瞳から瞳へ 頬から頬へ 人から人へ 僕らは歌を歌っている」とあります。合唱部では、歌詞の持つ意味をいつも考えながら、そしてみんなで共有しながら歌っています。「君に何かを伝えたくて 新しい言葉が生まれる 君と何かを感じたくて 言葉は歌になる」とこの歌は、帯西の合唱部の今の姿を映すものだと感じています。夏休みに行われた九州大会から2週間しか経っていませんが、九州大会より、さらに歌詞のメッセージが伝わってきました。その理由を担当の力田先生に尋ねると「九州大会が終わって、もう一度歌詞の意味を子供たちと共有し直しました。また、合唱部のリーダーである6年生とも練習の在り方を話し合いました。私も6年生の考えを知り、他学年とも思いを共有することで合唱部の絆が深まったと思います。本番では響きやフレーズのいおさめ方など、より丁寧に歌うことを意識できたと思います。」と短期間で修正できた理由を教えてくださいました。



県立劇場のステージ上では、子供たち一人一人が4月から積み重ねてきた練習の成果を発揮するかの如く、自信をもって歌っている子供たちが居ました。会場中を包み込んだ子供たちの歌声は、聴衆を非日常の世界に誘(いざな)いながら、心を揺さぶって、歌の世界に没入することができました。

また、熊日大賞が帯中、優秀賞が帯西、帯小と帯中校区の合唱の小中連携が県内においても発揮されたようです。

まだまだ、伸び代がたくさんある、合唱部ですので、これからの活躍が本当に楽しみです。これからも帯西自慢の合唱部の部員の一人として、表現活動を行って欲しいと思います。ちなみに、その素敵な歌声は、校内音楽会のオープニングで披露してもらいます。

帯中からのプレゼント

先日19日(土)に、青少協と中学校が協力して取り組んでいる「帯山中学校区さわやか推進事業」が行われました。毎年、地域の公園を中学生が掃除をしたり、地域に花を配ったりしています。しかし、当日は生憎の雨で、校内での活動となったようですが、本校も中学校の生徒が、植えてくれたビオラのプランターを5つ頂きました。プランターは4年生のプレハブ前(校長室とプレハブ校舎の間)に飾ってあります。これから次々と花を咲かせてくれることでしょう。さわやか事業という名の通り、中学校の生徒によって、学校を訪れる皆さんの心を爽やかにしてくれると思います。中学生の皆さん、ありがとうございました。

